

千種公園 管理運営方針

パークマネジメントプラン

◆公園の特性を生かした公園経営の推進◆

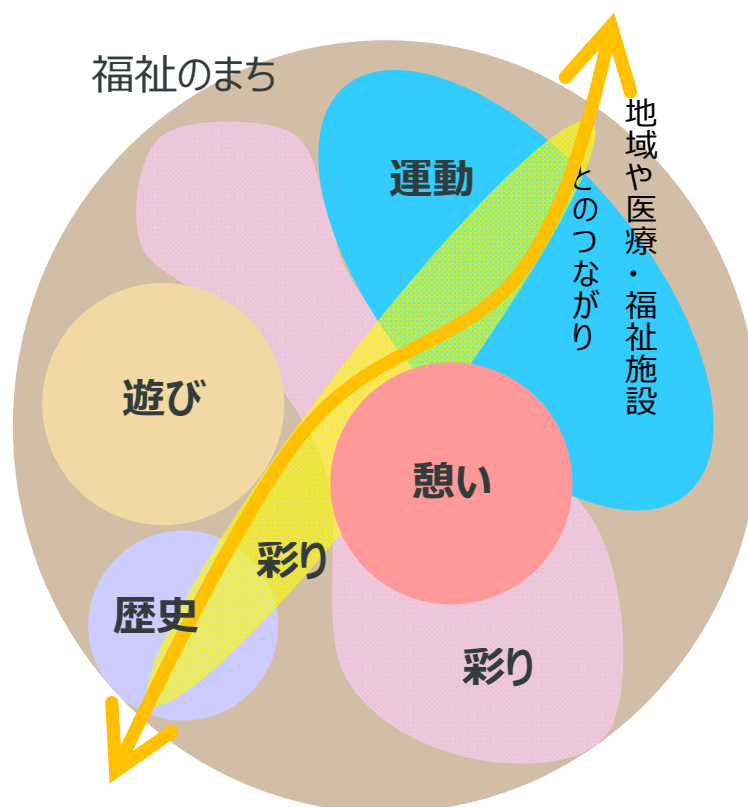
平成 27 年 11 月

千種公園のめざす公園像

閑静な文化的地区で支え合うやさしさをはぐくむ

地域のオアシス・パーク

- ・ 福祉のまちづくりモデル地区として、福祉を重視した公園
- ・ 千種公園の特長の1つである「ユリの花園」を守り育てる。
- ・ 日常的に利用する多くの市民が、互いに助け合い、憩える公園



目次

パークマネジメントプラン 基本事項	1
1.公園の概要	
1-1.千種公園の概要	2
(1) 概要	2
(2) 行政計画上の位置づけおよび指定等	4
1-2.沿革	8
1-3.立地環境	9
(1) 自然状況	9
(2) 周辺状況	9
1-4.整備時の方針および内容	12
(1) 整備当初の基本方針	12
1-5.施設状況	13
(1) 施設概要	13
(2) 利用時間および料金	16
(3) 景観	16
1-6.利用状況	18
(1) 利用実績	18
(2) 主な行事	19
(3) 利用者の意見	20
(4) 利用・運営上の課題	23
(5) 協働	23
1-7.公園の基本的な性格・役割	24
(1) 特長の分析	24
(2) 公園経営の視点から見た現況評価	25
2.めざすべき姿と取り組みの方針	
2-1.公園がめざすべき姿	26
(1) めざす公園像	26
(2) 千種公園のイメージ	26
2-2.取り組みの方針	27
(1) 公園経営の目標設定	27
(2) ゾーン別特性	28
(3) 維持管理の方針	29
(4) 景観形成の方針	29
(5) 運営管理の方針	29
(6) 連携・協働の方針	30
(7) 改修・再整備の方針	30
(8) 災害対応の方針	30

パークマネジメントプラン 基本事項

公園管理運営方針（パークマネジメントプラン）は、平成 24 年 6 月に公表された「公園経営基本方針」及び、平成 25 年 7 月に公表された「公園経営事業展開プラン」に基づき、今後 10 年程度を計画期間として公園の管理運営の方針等を定めるものです。

この方針では、千種公園の性格、役割、立地条件や公園としてのあゆみ、利用者の動向などを踏まえて、めざす公園像を設定し、その実現にあたっての取り組みの方針を定めました。

管理者、利用者、事業者等は、このプランで示す各方針に即して、本公園における管理運営や利活用の促進を、それぞれの立場で行っていくものとします。

なお、本方針については、マネジメントサイクルで行う評価の結果や、周辺の都市基盤整備状況、技術動向、財政見通しなど社会経済情勢の変化等により対応が必要となった場合には、適宜見直しを行っていくものとします。

「名古屋市の公園経営」とは…

従来の行政主導による維持管理中心の公園管理から脱却し、利用者志向、規制緩和等による市民・事業者の参画の拡大、多様な資金調達とサービスへの還元、経営改善手法の導入など、公園の利活用の発想により公園の経営資源を最大限に活用していく新たな管理運営の考え方で

名古屋市においては、市民ニーズを考慮した公園経営を第一とし、公園を「市民の資産」としてとらえ、多くの人々の関わりの中で、市民全体が公園経営の成果を享受できるように「管理する資産」から「経営する資産」へと公園の管理運営のあり方を大きく変革していくものです。

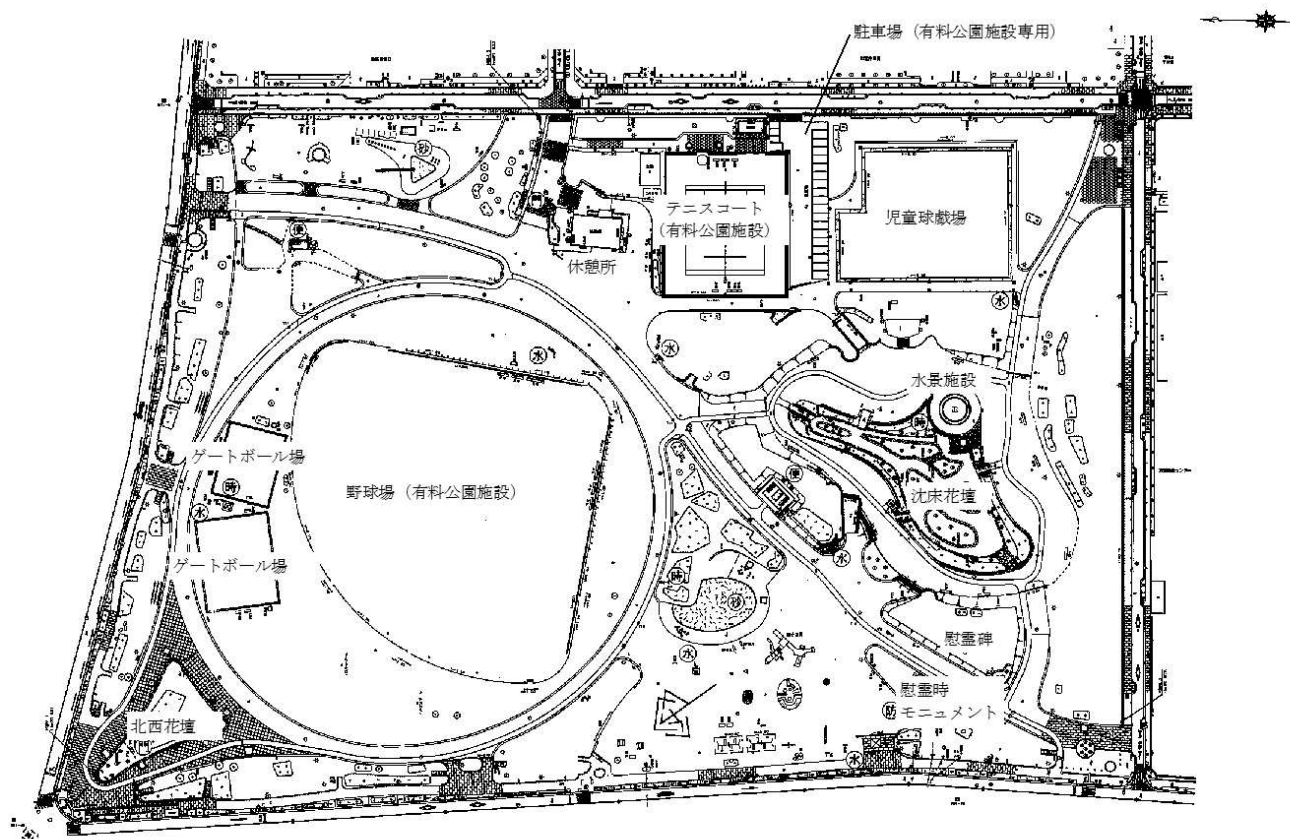


1.公園の概要

1-1.千種公園の概要

(1) 概要

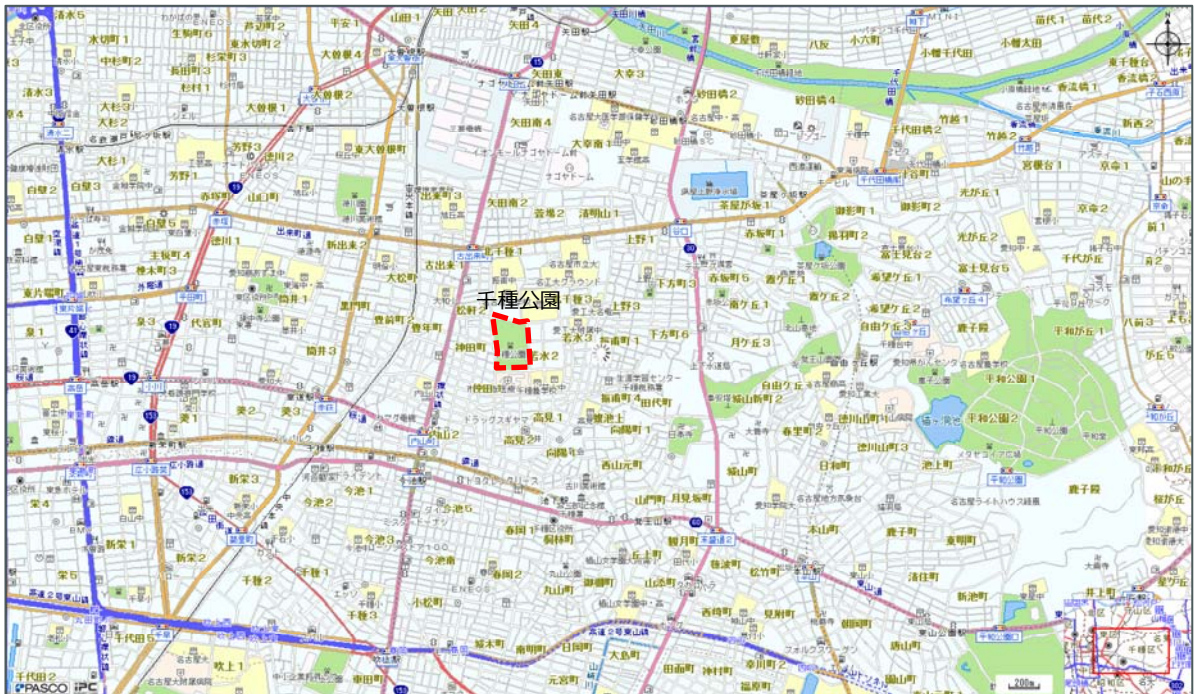
開園年度	昭和 45 年
都市公園法による設置	昭和 45 年 4 月 1 日
公園面積	5.94ha
所在地	名古屋市千種区若水一丁目
公園種別	地区公園
都市計画決定	年度 昭和 22 年 5 月 6 日 番号 4・4・1 号（地区公園） 面積 5.9ha



千種公園平面図

【位置】

千種区の西端で、地下鉄東山線・桜通線、JR 線の池下駅、今池駅、千種駅、車道駅等から 1～2km の住宅街の中に位置する。



位置図

【交通】

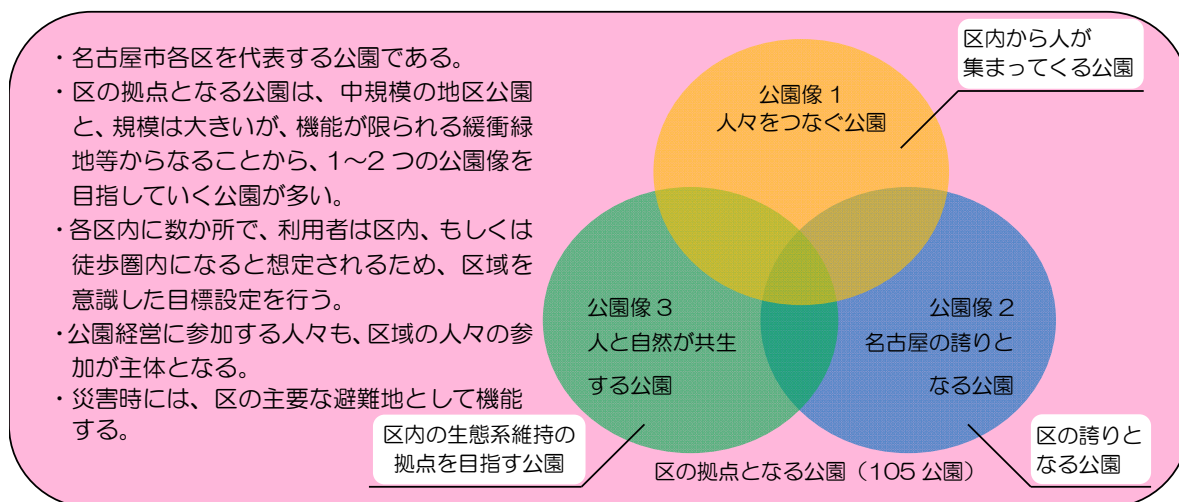
地下鉄東山線 「今池」駅より市バス千種 11 系統「砂田橋」行
「北千種町」または「東部医療センター」下車
J R ・地下鉄東山線「千種」駅より市バス千種 11 系統「砂田橋」行
「北千種町」または「東部医療センター」下車
地下鉄東山線 「今池」駅 2 番出口より徒歩 15 分

(2) 行政計画上の位置づけおよび指定等

■ 区の拠点となる公園

事業展開プランの中で、公園の面積規模や公園利用者の広がり considering 3つに分類された公園体系のうち、「区の拠点となる公園」として位置づけられている。「区の拠点となる公園」とは、各区でおよそ数か所ある地区公園及び河川敷緑地などを指している。

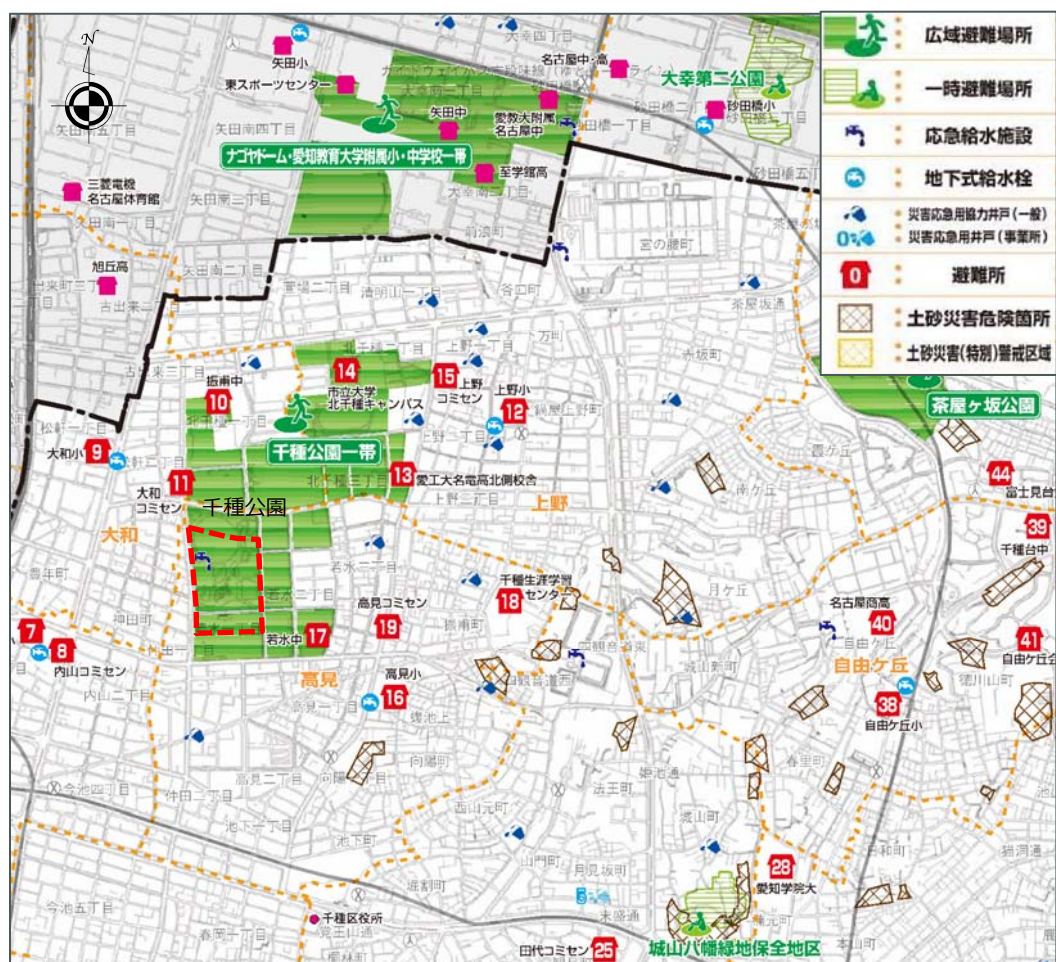
【区の拠点となる公園】



※名古屋市公園経営事業展開プラン（H25.7）

■ 広域避難場所

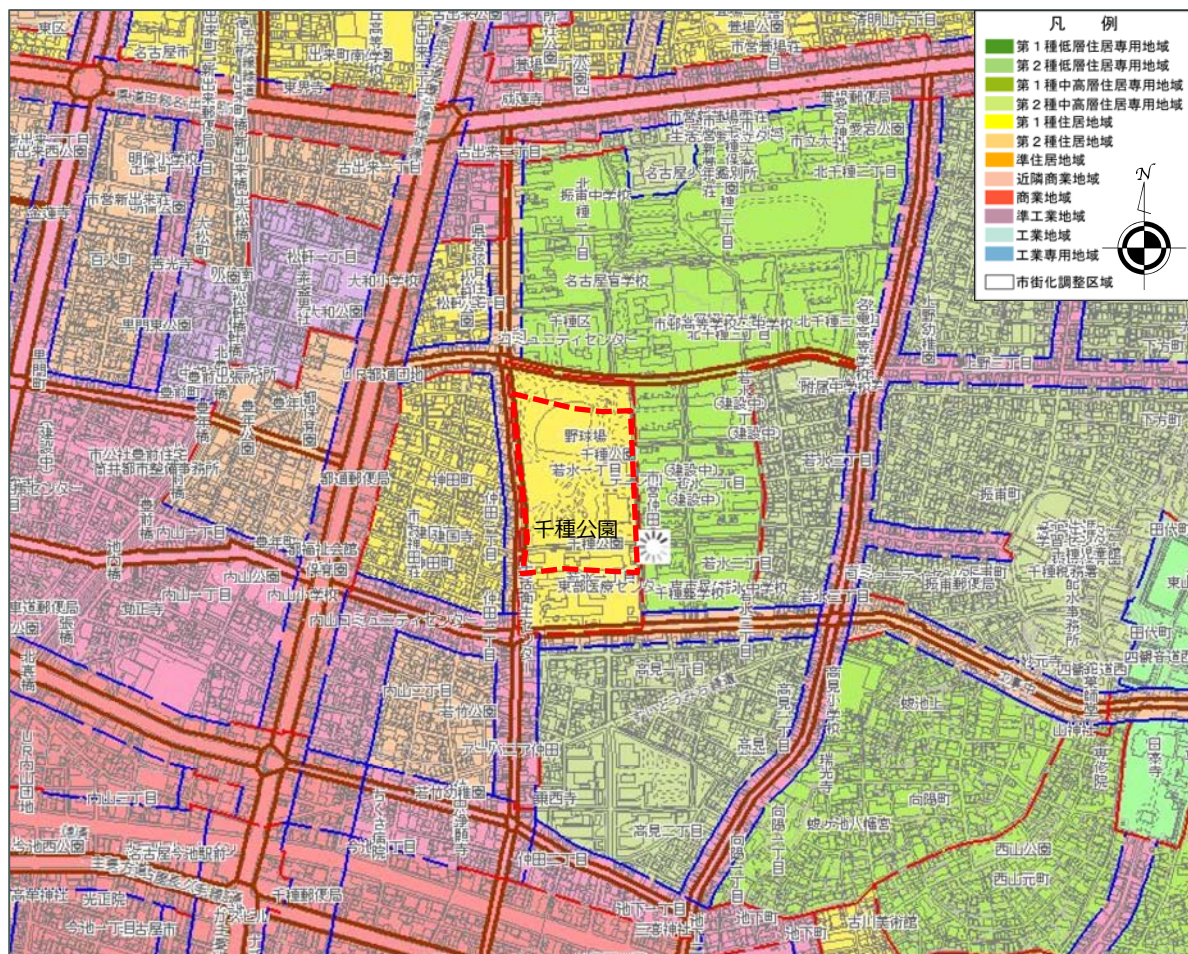
名古屋市地域防災計画の中で、千種公園は広域避難場所として指定されている。広域避難場所とは、主として地震火災が延焼拡大した場合に、周辺地域からの避難者を収容し、避難者の生命を保護するための場所である。



避難所マップ

■用途地域

公園は第1種住居地域、周辺は第1種・第2種中高層住居専用地域、第1種・第2種住居地域、または近隣商業地域となっている。



用途地域図

■ 史跡散策路

千種区の史跡散策路の「千種公園とみずのみちめぐり」は、千種公園を中心にめぐるルートとなっている。



史跡散策路マップ

1-2.沿革

大正 8 年（1919 年）	旧名古屋陸軍造兵廠千種製造所開設
昭和 22 年（1947 年）5 月 6 日	現在の名古屋市立東部医療センター、市営仲田住宅、愛知県立千種聾学校、愛知県立名古屋盲学校、市邨高等学校などを含む 39.6ha が都市計画公園第 18 号千種公園として決定
昭和 25 年（1950 年）6 月 5 日	都市計画変更
昭和 29 年（1954 年）11 月 18 日	都市計画変更により 5.4ha に縮小
昭和 34 年（1959 年）10 月 19 日	都市計画事業認可を受ける
昭和 35 年（1960 年）4 月 1 日 4 月	大蔵省（現在の財務省）より国有地の無償貸与を受ける 整備工事に着手
昭和 45 年（1970 年）4 月 1 日	都市公園として供用開始
平成 6 年（1994 年）	福祉都市環境整備指針による第 2 号福祉のまちづくり事業モデル地区として「千種公園周辺地区」を指定し整備計画を策定

公園内の一角に、戦争中、空襲を受けながら職場を守り、不幸にもお亡くなりになられた 70 余人の霊を慰霊して杉戸清市長（任期：S36.4.28～S48.4.27）の筆による「ここに涙あり、されど平和は永遠に」と刻まれた記念碑が建立されている。

また、平成 26 年（2014 年）11 月、名古屋市街地に最大規模の被害をもたらした昭和 20 年 3 月の空襲から 70 年の節目の年にあたり、平成 22 年度に創設した名古屋市民間戦災傷害者援護見舞金事業の一環として、千種公園内に民間戦災障害者の碑が建立された。



慰霊碑



空襲で被弾したコンクリート塀



民間戦災障害者の碑

1-3.立地環境

(1) 自然状況

【地形】

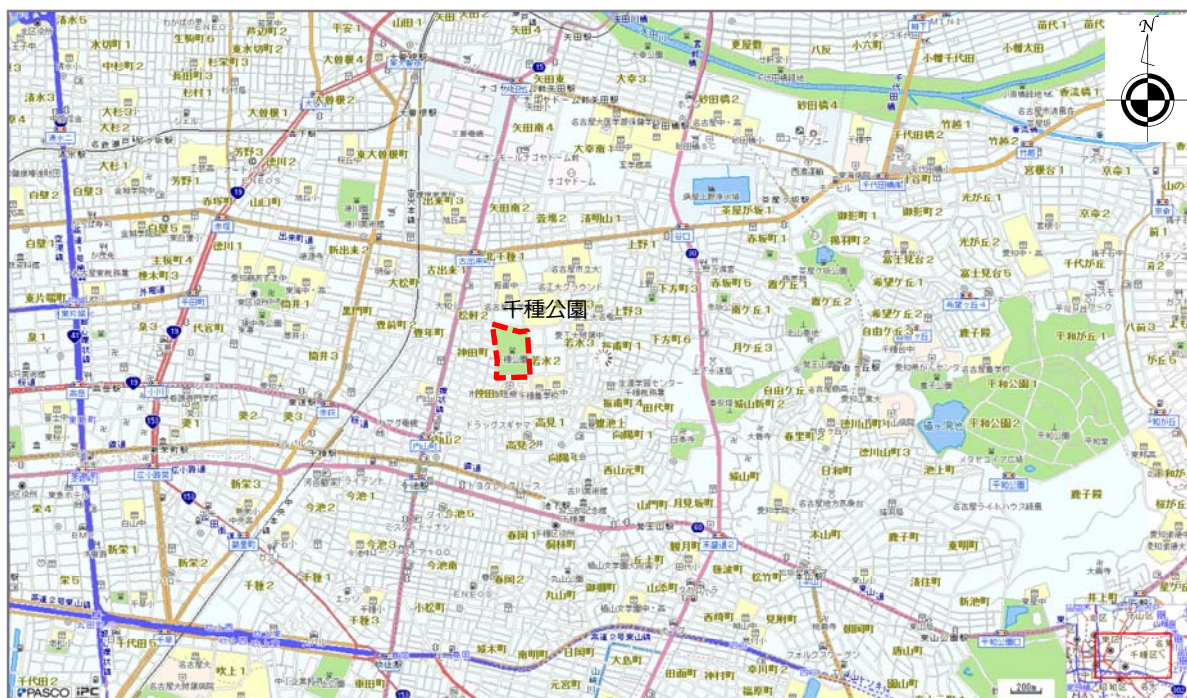
公園は周辺道路よりやや高く、概ね平坦になっている。

【植生】

園内には、5月下旬から6月中旬にかけて次々と花を咲かせる「ユリの花園」があり、花の名所となっている。主園路沿いにはイチョウ並木があり新緑や秋の黄葉が大変美しい。成長した高木が多く、緑豊かな広々とした公園となっている。また公園周辺の道路には、イチョウ、アメリカフウ、ハナミズキなどが街路樹として植えられている。

(2) 周辺状況

千種公園周辺には、名古屋市立東部医療センターをはじめとして保育園、警察署等の公共施設が多い。また、社会福祉協議会、福祉会館、児童館、授産施設等の福祉関係施設や盲学校・聾学校を含めた小中学校等の教育施設が分布しており、市内でも高齢者・障害者等の利用頻度が高い施設が集積していて、区の中心的役割を担っている。また、千種公園周辺の道路は一方通行規制が多く、コミュニティ道路が整備されている。



周辺状況図



航空写真

【名古屋市立東部医療センター】

明治 23 年（1890 年）創設。心筋梗塞や脳卒中に対し、カテーテルアブレーションや心臓血管外科手術などの高度専門医療を実施する心臓血管センター・脳血管センターを設置している。

所在地：千種区若水 1-2-23

面 積：敷地 26,277 m²／建物延べ床 31,777 m²

病床数：498 床（一般 488 床・感染症 10 床）

診療科：一般 27 科



名古屋市立東部医療センター

【愛知県立千種聾学校】

明治 34 年（1901 年）視覚障害の青年教師長岡重孝が私立名古屋盲聾学校を創設した。昭和 7 年（1932 年）愛知県に移管され、愛知県盲聾学校と改称し、昭和 8 年（1933 年）に盲学校が分離独立し、愛知県聾学校となった。昭和 12 年（1937 年）にはヘレン・ケラーが愛知県聾学校を訪問している。昭和 39 年（1964 年）に愛知県立千種聾学校として開校し、現在に至っている。幼稚部・小学部が設置されており、聴覚に障害のある幼児児童の教育を行っている。

幼稚部は、教育目標に基づき、毎日の活動は四季の変化や生活経験の中での話題を取り上げ、親子や子供たち同士の関わりを深めている。



小学部は、小学校に準ずる教育課程で教育活動を行っている。子どもの実態に応じた学習活動を展開し、３年生以上では、地域・生命・自分の障害などをテーマに取り上げ 「総合的な学習の時間」を実施している。

所在地：千種区若水二丁目５番１号

【愛知県立名古屋盲学校】

前述の愛知県立千種聾学校と同様、明治 34 年（1901 年）に設立され、昭和 23 年（1948 年）愛知県立名古屋盲学校への改称などの変遷を経て、昭和 24 年（1949 年）千種区北千種に新しい校舎が完成し現在に至っている。

幼稚部、小学部、中学部、高等部の各部が設置されており、視覚障害児（者）のための教育が行われている。また、寄宿舍が設置され、遠距離等で通学が困難な児童生徒に対する配慮もなされている。

所在地：千種区北千種一丁目８番 22 号

1-4.整備時の方針および内容

(1) 整備当初の基本方針

《平成 7 年 千種公園基本計画および基本設計（名古屋市農政緑地局）》

基本方針

機能面の充実に加え、地域の特性や千種公園らしさを表現する改修整備

- 高齢者、障害者等が安全に移動できる園路整備
- 高齢者、障害者等が積極的に公園を楽しめる機能整備
- 基本的な空間構成の継承
- 公園の持つ歴史資産の保存
- すべての人々が一緒に楽しめる企画の運営機関の設置

《平成 7 年 福祉のまちづくり事業 千種公園周辺モデル地区整備計画(福祉のまちづくり推進委員会)》

【モデル地区の選定基準】

- ① 高齢者・障害者の多数居住する地域
- ② 福祉施設など公共的施設が集積する地域
- ③ 交通結節点など多数の市民が移動する地域

【モデル地区の整備目標（公園）】

- ① 高齢者・障害者も積極的に、継続的に参加できるプログラムづくりを行う。
- ② 現状の良さを生かして、より一層楽しむことができる公園づくりを行う。
- ③ 高齢者や障害者等が移動しやすく、かつ、快適に利用できる公園の整備を行う。
- ④ 高齢者や障害者等もいっしょになって楽しめる遊器具を設置する。

【公園整備方針】

- 公園は高齢者や障害者をはじめすべての市民の憩いの場として、また生活上の潤いの場として、ニーズに応じた施設・空間の整備を図る。
- 主要な園路の明確化など公園全体のイメージ化を容易にすることにより、高齢者・身障者が積極的に利用できるような環境をつくる。
- 現状の良さを生かしながら整備を検討することにより、快適性の向上をめざす。
- 節度ある自転車の乗り入れを啓発誘導し、高齢者・身障者の安全性を考慮する。
- 公園をフィールドにした住民参加型のプログラムを展開する。

1-5.施設状況

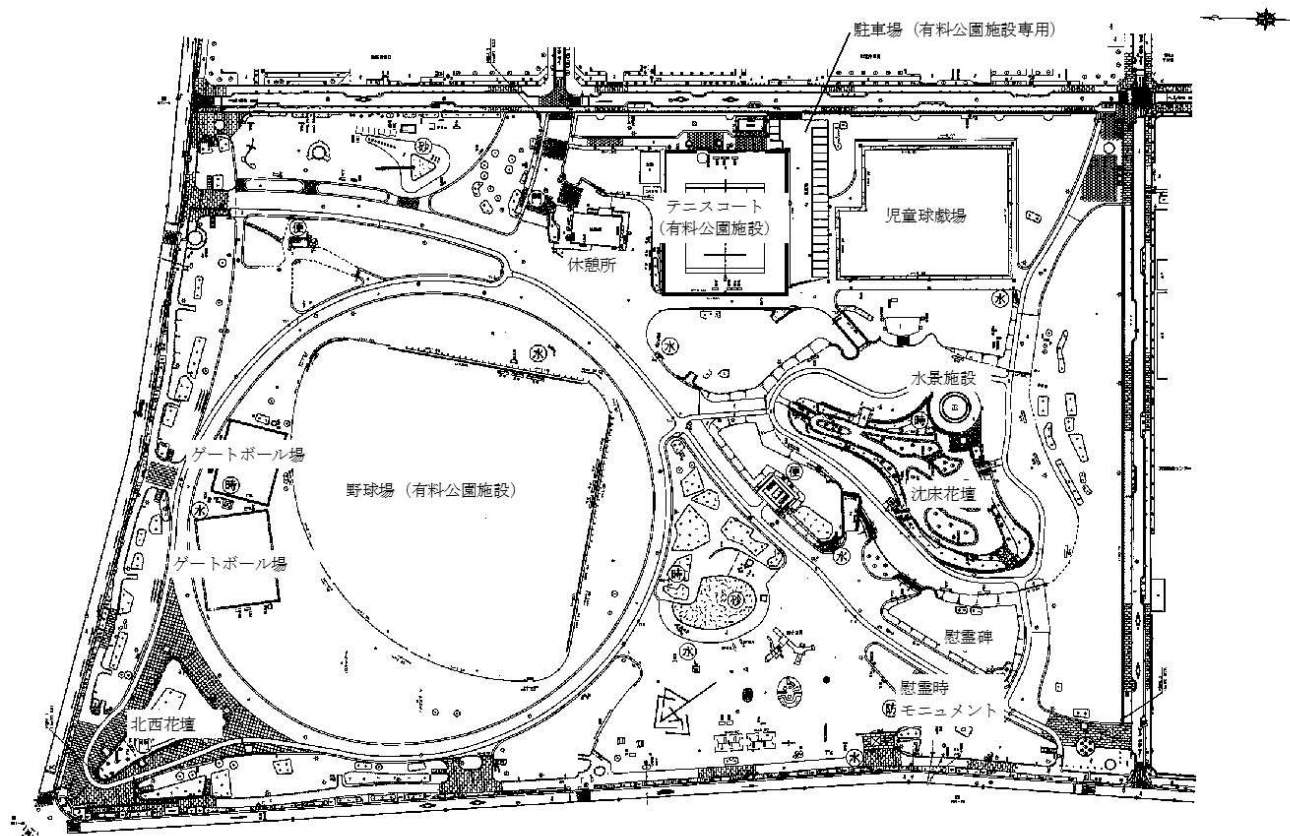
(1) 施設概要

園内の北東部と南西部には児童園、北部には野球場、南東部にはテニスコートと児童球戯場、南部にはユリ園（沈床花壇^注）があり、既存の樹木を活かした緑豊かな広々とした公園として整備されている。また、公園北側と西側は、道路の歩道と公園の園路が一体整備されている。

春・秋の行楽期には周辺地域の保育園、小中学生をはじめ多くの来園者でにぎわい、千種区の代表的な公園として多くの市民に親しまれている。特に5月下旬から6月中旬にかけて次々と花を咲かせる「ユリの花園」は市内でも有数の花の名所となっている。

旧名古屋陸軍造兵廠千種製造所の跡地であり、空襲を受けた地域であるという歴史的背景から、関連する慰霊碑やモニュメントも設置されている。

注：周辺より一段下げてしつらえた花壇



千種公園平面図

■身障者への配慮

【サイン】

視覚障害者の散策に配慮し、またすべての利用者にも分かりやすいサインが設置されている。利用の多い出入口に音声付触知案内板、分岐点に点字案内板を設置し、憩いのスペースに点字案内板や芳香性のある草花が植栽されている。



【散策路】

主園路は、車いす使用者が容易に移動できるものとし、主園路に接続して高齢者・身障者等がゆったり歩くことができる散策路が設置されている。主園路には舗装に細いパイプが埋め込まれ白杖で伝って移動することができる誘導パイプが設置されている。



【遊具】

車いす使用者もいっしょに楽しむことができる遊具が設置されている。

■花の名所

10,000 球のユリが、花の名所として認知され楽しまれている。ユリの季節以外も、公園内各所の花壇において季節の花を楽しむことができる。

■運動施設

【野球場】

面数 1

施設面積 7,500 m²

ナイター施設 なし

昭和 45 年 4 月 1 日供用開始



【テニスコート】

面数 2 ハードコート（全天候型）

施設面積 1,600 m²

ナイター施設 なし

更衣室 あり

昭和 61 年 5 月 1 日供用開始



【児童球戯場】

施設面積 1,800 m²

【健康増進コーナー】

設置年月：S55.10

種目 ：上体おこし、立位体前屈



(2) 利用時間および料金

【野球場】

昼間（8時30分から16時30分）	3,000円	
午前（8時30分から12時）	1,900円	
午後（13時から16時30分）	1,900円	
薄暮（17時から日の入相当時刻）	1,100円	※薄暮利用可能期間 3/1～10/31

【テニスコート】

昼間（8時30分から16時30分）	1,300円	
午前（8時30分から12時）	700円	
午後（13時から16時30分）	700円	
薄暮（17時から日の入相当時刻）	600円	※薄暮利用可能期間 3/1～10/31

【駐車場】

有料公園施設利用者専用駐車場
収容台数：普通車 18台程度

(3) 景観

【公園内の優れた景観】

- ・ ユリの時季は、噴水のある一段高い位置からユリの花園を見渡す景色が美しい。
- ・ 秋はイチョウやトウカエデの黄葉・紅葉が見られる。

【公園内から見える周辺の景観】

- ・ 公園周辺は建物が多く、眺める対象となるものは特にならない。

◇彫刻

作品名	切株と少女
作家名	山本正道
設置年	H 元. 3
設置場所	沈床花壇



◇水景施設

種類	噴水
面積(m ²)	38
設置年	S48.5
備考	S61 改造



◇その他の修景施設

- ・緑のステージ



◇花の名所

- ・ユリの花園（昭和 61 年度整備）
開花時期 5 月下旬～6 月中旬
沈床花壇 8,000 球
北西花壇 2,000 球



1-6.利用状況

(1) 利用実績

千種公園では、「平成 26 年度都市公園利用実態調査要領 都市公園用」に基づいた調査が行われた。平成 26 年 10 月 10 日（金）（平日）、12 日（日）（休日）の 2 日にわたり、千種公園の 10 か所の出入口において入園および退園者数の調査として行われたものである。

（第 9 回都市公園利用実態調査委託 報告書 より）

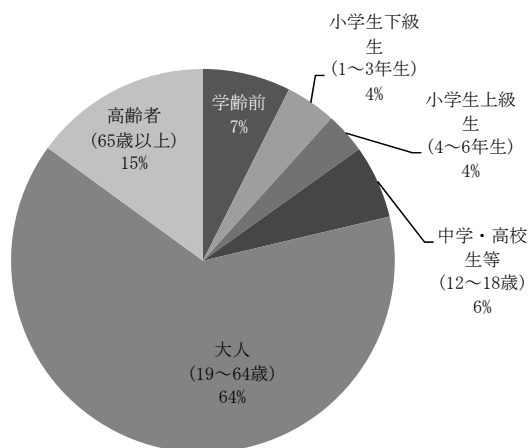
■利用者数調査

12 時間の利用者人数は以下の通りであった。

調査日	平日	休日
入園者数	2,441 人	3,744 人

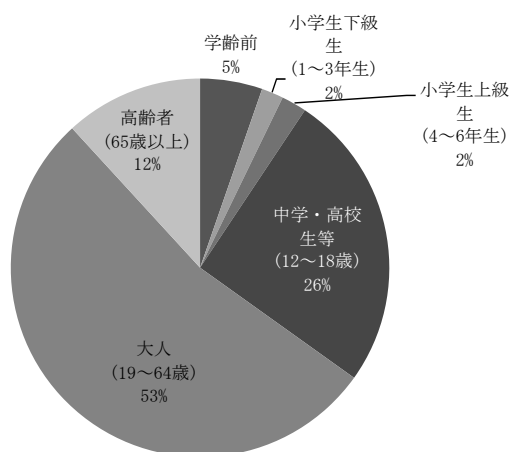
<調査日：2014 年 10 月 12 日（日曜日）>

分類	利用者数(人)	構成比(%)
学齢前	181	7%
小学生下級生 (1～3年生)	104	4%
小学生上級生 (4～6年生)	84	3%
中学・高校生等 (12～18歳)	151	6%
大人 (19～64歳)	1,555	64%
高齢者 (65歳以上)	366	15%
合計	2,441	100%

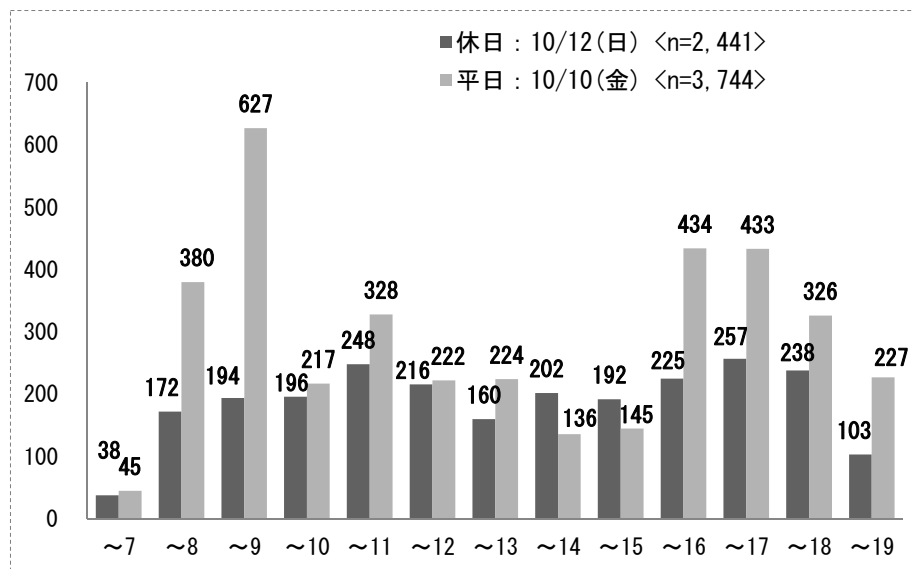


<調査日：2014 年 10 月 10 日（金曜日）>

分類	利用者数(人)	構成比(%)
学齢前	199	5%
小学生下級生 (1～3年生)	70	2%
小学生上級生 (4～6年生)	81	2%
中学・高校生等 (12～18歳)	956	26%
大人 (19～64歳)	1,996	53%
高齢者 (65歳以上)	442	12%
合計	3,744	100%



時間帯別利用者数



休日と比較すると平日は学生の利用が多く、時間帯別では朝および夕方の利用が多い。学生の部活動での利用や通勤・通学時の通り抜けが多い。平日、休日ともに昼間は遊具の利用も多い。

(2) 主な行事

イベント開催実績（H26 年度）：現地管理受託者実施

開催日	項目	内容	参加人数
5月10日(土)	緑のスクール	木製ペン立てをつくろう！	40
6月7日(土) ~8日(日)	ユリ鑑賞会	ガイド付きでユリを鑑賞する。	900
7月26日(土)	クラフト教室	草バッタをつくろう！	7
9月20日(土)	クラフト教室	木の実を使ったクラフト教室	50
11月15日(土) ~16日(日)	自然教室	謎解きクイズラリー	40
12月20日(土)	緑のスクール	マツボックリでクリスマスツリーをつくろう！	20
2月14日(土)	緑のスクール	木の枝で動物をつくろう！	60
3月14日(土)	緑のスクール	まゆ玉でキャラクターをつくろう！	

- ・参加費はすべて無料
- ・親子の参加が多く、リピーターも増えている。

【にぎわい】

- ・ 現地管理受託者が、ユリの時季には鑑賞ツアーを開催し、ユリの花園付近に店を出している。
- ・ 緑のステージで、近隣学校の吹奏楽部の演奏会が行われている。
- ・ 聾学校・盲学校の生徒が、学習の一環として利用している。

(3) 利用者の意見

平成 26 年 1 月、千種公園周辺施設に対してヒアリングを行った。

【意見・要望等】

- ・ 清掃活動を行うと、拾ったゴミの中にタバコの吸い殻があり、マナーの問題がある。
- ・ 子どもの成長にとって必要な場所であり、今後も継続的に利用していきたい。
- ・ 現状では、聾学校・盲学校の幼児児童生徒一人で公園を利用することは他の利用者との接触を回避できず不可能であり、一般の障害者が一人で利用する場合にも安全面、情報面で今以上に配慮が必要である。（不審者通報システムや、公園全体を一覧できる地図等）
- ・ 季節に合わせた多様な植物を増やしてほしい。
- ・ 清潔なトイレを増設してほしい。
- ・ 土の部分の水はけを改善してほしい。
- ・ 公園の南側にはエントランスがないため、南側施設（東部医療センター）からのアクセスがよい。
- ・ アスファルトに設置された視覚障害者用のレールは、視覚障害者に認識されていない。
- ・ 周囲からの見通しを良くして、安全を確保してほしい。
- ・ 地域ネコ、カラスの対策をしてほしい。

平成 26 年 11 月 15 日（土）に公園利用者に対して、現地で聞き取り調査を行った。アンケートは、学生から 70 代以上まで幅広い年齢層の 52 名を対象とし、公園に対する意見・要望等を聞いた。対象者の 7 割以上が週 1 回以上、千種公園を利用している（内、毎日利用しているのは 33%）。

【千種公園の良いイメージ】

- ・ 見晴らしが良くて開放感がある。
- ・ ゆったりしている。
- ・ 樹木が多く、ユリ園・イチョウ並木・桜・紅葉・どんぐり拾いなど四季が感じられる。
- ・ 訪れる人がいい人ばかりで穏やかな気持ちになる。

- ・名古屋空襲の石碑があり、継承したい。
- ・歩くのにちょうどよい広さがある。
- ・雨の日でも歩きやすい。
- ・自転車が通れる。
- ・多様な施設がある。(遊具、噴水、オブジェ、ベンチ、トイレ)
- ・安全で、子供を遊ばせやすい。
- ・よく清掃されている。樹木の手入れもされている。
- ・道路から距離があるので、ボールが飛び出す危険が少ない。

【要望等】

- ・照明施設が少ない。安全性を高めてほしい。
- ・園内の案内を増やしてほしい。
- ・駐車場・乗降車場がほしい。
- ・子どもが遊ぶ場所のそばにベンチがほしい。
- ・座ったり寝転がったりできる芝生広場がほしい。
- ・大きい子供が遊べる遊具があるとよい。
- ・トイレが古くて暗いため、快適に利用できるようにしてほしい。
- ・オムツ替えできる場所がほしい。
- ・広報の割にユリ園が小さく、管理も低下している。
- ・噴水が停止したままで汚れているため、きれいにしてほしい。
- ・噴水ではなく遊べる水辺にしてほしい。
- ・喫煙場所を決めてほしい。
- ・イベントの告知をしてほしい。
- ・バザー、祭り、子供向けイベント、自然や動物と触れ合うイベントなどが行われるとよい。

平成 22 年に行われたネット・モニターアンケートによると、千種公園は「(市内で)好きな公園」第 12 位となっており、千種公園が好きな理由として以下が挙げられている。

【千種公園が好きな理由】

- ・ユリの花、銀杏の黄葉がきれい。
- ・花壇が手入れされ、四季を感じることができる。
- ・管理が行き届き、清潔感がある。
- ・遊具が充実していて、危険が少なく、小さな子供が安心して遊べる。

千種公園では、「平成 26 年度都市公園利用実態調査要領 都市公園用」に基づいた利用実態調査が行われた。平成 26 年 10 月 12 日（日）に聴き取り又は自記入式によるアンケート形式で行われたものである。（第 9 回都市公園利用実態調査委託 報告書 より）

【利用実態調査】

アンケート回収数は以下の通りであった。

調査日	有効回収数	内訳
入園者数	156 人	男性 78 名 女性 78 名

（回答の概要）

- ・ 85%以上が公園から 2.5km 以内に居住する市民である。
- ・ 半数近く（49%）が一人で来園している。家族で来園した利用者は 30%。
- ・ 76%が徒歩で来園している。
- ・ 78%の来園者が公園に来るのにかかる時間は 15 分以内としている。
- ・ 78%の来園者が「いつも来ている」と回答している。
- ・ 利用目的は、「散歩 (31%)」、「子どもを遊ばせに (16%)」、「犬の散歩 (12%)」となっている。
- ・ 滞在時間は、82%が 1 時間以内である。
- ・ 利用者の 74%が、週 1 回以上の頻度で利用している。（上記調査結果と一致）
- ・ 「緑の量や花の演出など」「自然の豊かさ」「公園の落ち着きや雰囲気、景色の美しさ」「散歩や憩いの場としての利用」に関する満足度が高い。
- ・ 「やや不満」「不満」とする意見は少なく、74%が「特に不満はない」と回答している。

(4) 利用・運営上の課題

- ・ 自転車、ランナー、歩行者が混在し、危険な場合がある。特に聾学校・盲学校の児童にとっては接触の危険が高い。
- ・ デイサービスの利用も多いが、乗降できる駐車スペースが求められている。
- ・ 駐車場は有料公園施設利用者専用となっており、ゲートが開いているタイミングで一般車が入り込むと出られなくなるトラブルが起きている。
- ・ 銀杏が砂場に入ると臭いやかぶれの問題があり、苦情が寄せられている。
- ・ 広い公園の割に座る場所（芝生広場やベンチ）が少ない。
- ・ 住宅地にあるため、周辺に飲食店や売店が少ない。
- ・ 休憩所で体験講座などを実施しているが、空調が効かないため、夏季の講座は受講者が集まらない。
- ・ 公園の北側と西側に接する歩道は公園と一体整備されているが、道路と公園の管理上の協定締結が不十分で一体的な維持管理に課題を抱えている。特に、業務委託を発注する場合の区域設定に不具合がある。協定締結済の北側歩道に西側歩道も加えるなどの公物管理上の改善が必要である。

(5) 協働

■ ボランティア

【活動状況】

- ・ 2つの愛護会が活動していたが、1つの会は平成25年度末で解散したため、現在は1つの愛護会が、公園内の清掃活動を行っている。
- ・ 個人的な除草作業や枯れ枝集めの活動も行われている。

【ボランティアの意見】

平成27年1月に、愛護会に対してアンケート調査を行った。

◇千種公園の魅力

- ・ 春はサクラ、初夏はユリ、秋は紅葉、普段は花壇に季節の花がある。
- ・ 早朝のラジオ体操、散歩、ランニングができる。
- ・ 野球場、テニスコート、ゲートボール場などのスポーツ施設がある。
- ・ 住宅街の中にあり、子供の遊び場として遊具がある。

■ その他の団体との協働

- ・ 民間企業とコラボ花壇を運営している。（草花の費用の寄付）
- ・ 自動販売機を設置している。（市に設置許可を提出して使用料を納め、売り上げは設置者が受け取る。）

1-7.公園の基本的な性格・役割

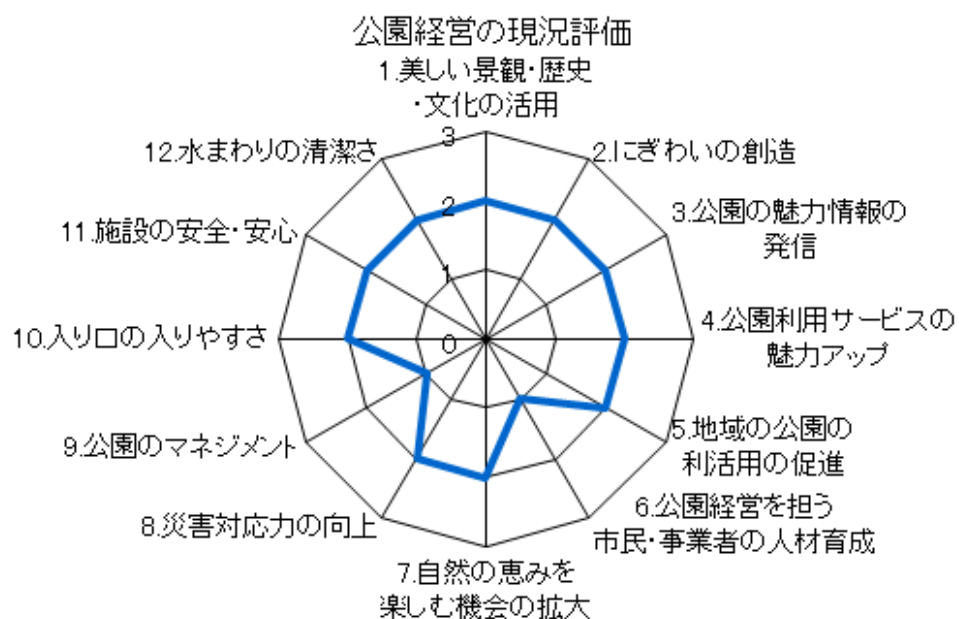
(1) 特長の分析

分析ポイント

歴史・文化	旧名古屋陸軍造兵廠千種製造所であった。 職場を守った多くの人が空襲で亡くなった。 病院、学校などの公的施設が隣接している。
景観	公園周辺は静かな住宅街である。 ユリの花園や園内の樹木により四季の彩りが楽しめる。
にぎわい	緑のステージで演奏会が行われている。
地域の庭	ユリ園等、季節の植物が親しまれている。
自然の恵み	イチョウ並木サクラ等、季節感のある樹木が多く植栽されている。
遊具	遊具のある広場がある。
スポーツ施設	野球場、テニスコート、児童球戯場、ゲートボール場、健康器具系施設等がある。
災害対応力	広域避難場所に指定されている。
活動団体	愛護会が活動している。
民間活力導入状況	自販機の設置あり。

(2) 公園経営の視点から見た現況評価

公園経営の現況評価	
評価基準	
評価0	—
評価1	部分的に不足している
評価2	標準的なレベルに達している
評価3	積極的に取り組んでいる、高い評価を得ている



- 全域、現地管理受託者によって管理している。
- 現地管理受託者が、ユリの時季には鑑賞ツアーを実施している。
- 現地管理受託者が、企業から花苗等の寄附を受けたコラボ花壇を運営している。

2.めざすべき姿と取り組みの方針

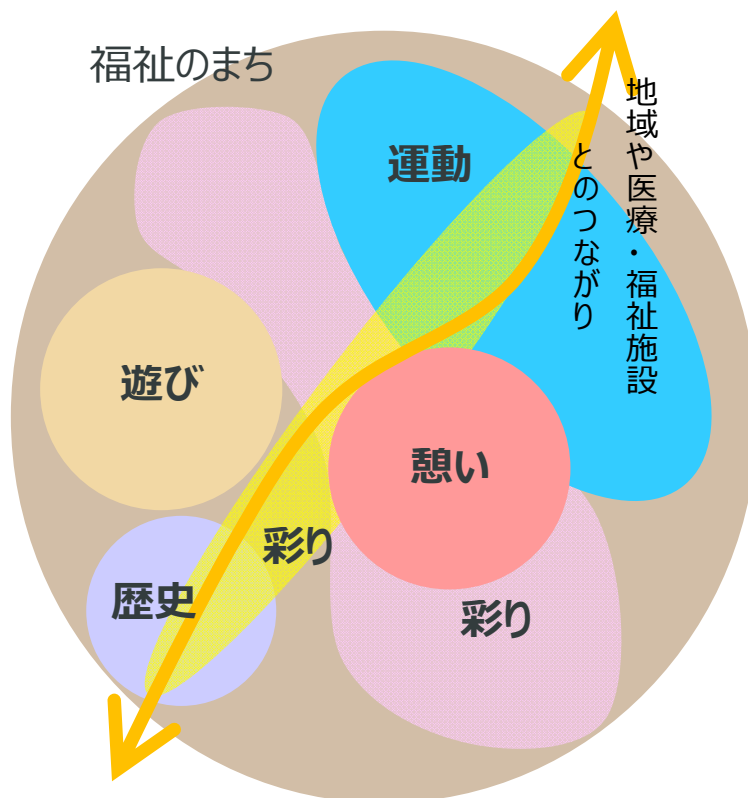
2-1.公園がめざすべき姿

(1) めざす公園像

閑静な文化的地区で支え合うやさしさをはぐくむ
地域のオアシス・パーク

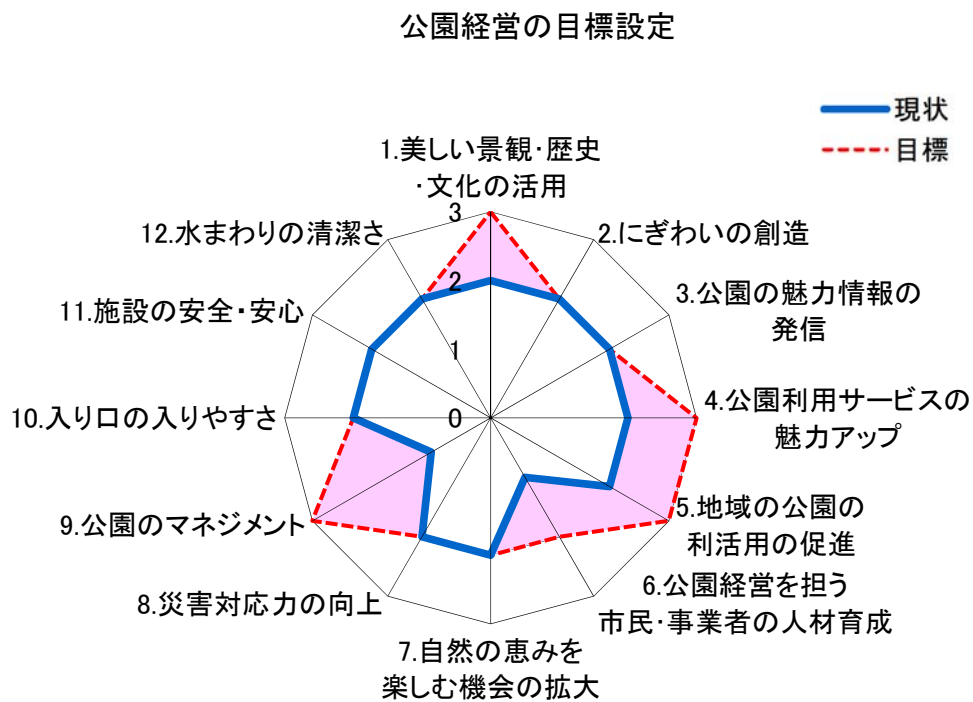
- ・ 福祉のまちづくりモデル地区として、福祉を重視した公園
- ・ 千種公園の特長の1つである「ユリの花園」を守り育てる。
- ・ 日常的に利用する多くの市民が、互いに助け合い、憩える公園

(2) 千種公園のイメージ



2-2.取り組みの方針

(1) 公園経営の目標設定

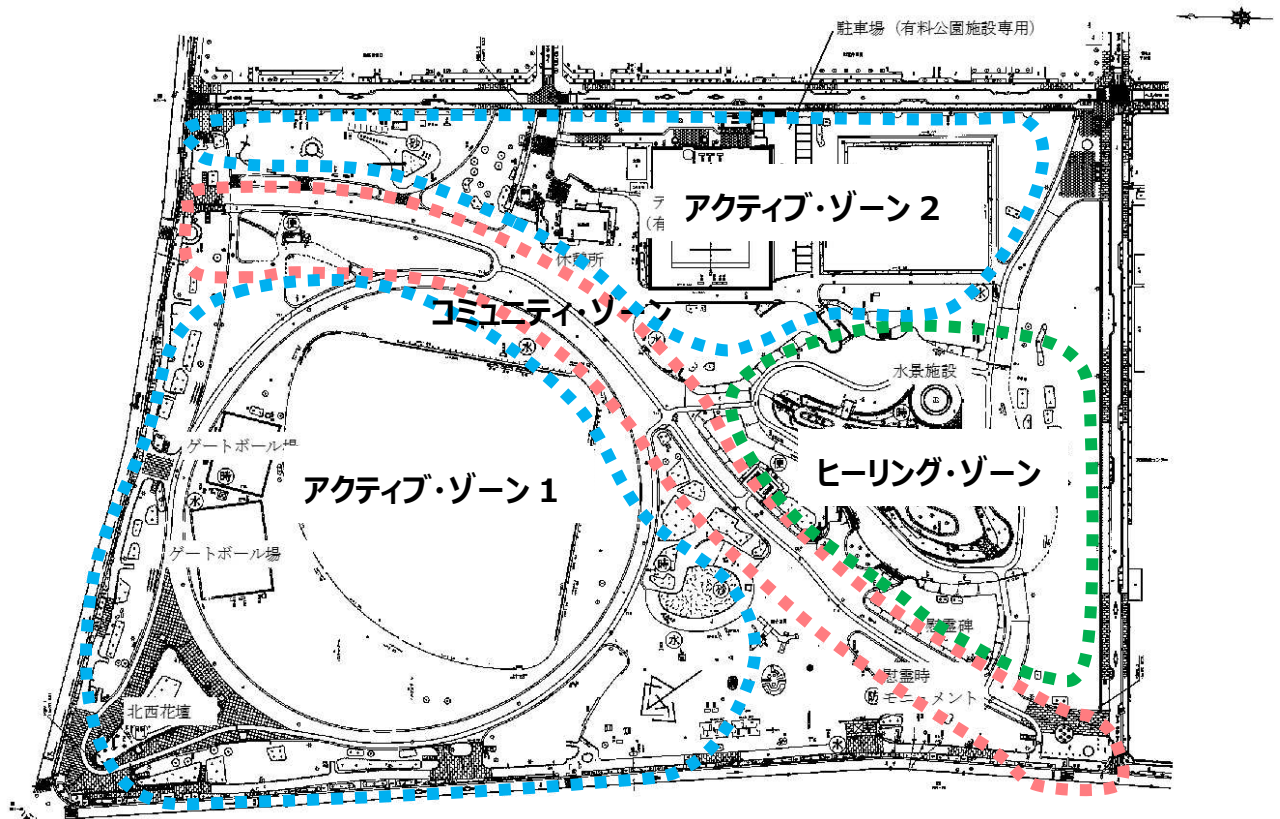


めざす公園像に取り組むための方針に沿って公園経営の目標を設定し、今後 10 年間に重点的に取り組む項目は、下表のとおりである。

めざす公園像のための取り組み項目	景観形成		運営管理				連携協働			維持管理		
	1	10	2	3	7	9	4	5	6	8	11	12
福祉のまちづくりモデル地区として、福祉を重視した公園							○					
千種公園の特長の 1 つである「ユリの花園」を守り育てる公園	○											
日常的に利用する多くの市民が、互いに助け合い、憩える公園						○		○				

(2) ゾーン別特性

管理運営や改修整備等を重点的・効率的に実施していくために、園内の各ゾーンについて現況等も踏まえ機能・目的・自然的環境等により類型化し、ゾーンごとの方針を定め、各ゾーンの長を際立たせて効果的な予算の執行等を図るうえでの基本的な方針とする。



ゾーン図

【コミュニティ・ゾーン】

公園を斜めに走る主要園路を中心に、周囲のゾーンが交差するゾーンで、公園利用者以外にも通勤・通学など日常的に多くの市民に利用されている。幅員が広く、秋の黄葉も美しい主要園路で、各種ゾーンとの接点として地域のコミュニティを形成するエリアとする。

【アクティブ・ゾーン1】

野球グラウンドを中心にランニングもできる。また子供たちが安全に楽しく遊べ、身障者もともに楽しめる遊具が充実したエリアである。近隣は住宅地で、広い面積を有する公園が少な

いことから、常時、子供から大人まで利用されている。利用頻度が高いことから、遊具の劣化等に留意し、安全管理を確実に行うことにより、安心して遊べる広場とする。野球グラウンドも日々のメンテナンスを利用者自ら行い、常に快適に利用できる仕組みづくりをしていく。

【アクティブ・ゾーン2】

テニスコートや児童球戯場、健康遊具等のあるエリアで、子供から高齢者まで日頃から気軽に運動できるエリアとする。

【ヒーリング・ゾーン】

ユリの花園を中心とし、緑陰でゆっくりとくつろぎながらユリの花を楽しめる心をいやす静かなエリアである。千種公園の魅力の一つとして、今後も守り育てていくエリアとする。

(3) 維持管理の方針

園地や植物の管理については、当初の植栽意図を踏まえ、各植物の特性に配慮したうえで、適正に持続・育成するよう必要な管理を行う。特にユリについては、花の名所として毎年楽しんでいただけるような栽培管理に努める。

施設や設備は、利用者が快適かつ安全に利用できるよう、各種施設の位置、機能、特性を十分に把握したうえで、常に清潔に保ち、機能を正常に保持するため、各施設に応じた年間管理計画を立て、点検・管理を行う。

周辺地域との連携、市民・企業等とのパートナーシップを推進し、参加型で効率的な維持管理をめざす。

(4) 景観形成の方針

市民からの評価の高いユリの花やイチョウの黄葉などの景観を大切にし、ユリの花園の充実を図るなど、既存の資源を活かした景観形成をめざす。

(5) 運営管理の方針

施設利用者の満足度を高め、多様なニーズに応えるため、施設利用者の声を聴取し、反映できるものは積極的に取り入れる。また、周辺地域との連携、市民・企業等とのパートナーシップを推進し、参加型の運営管理を推進する。

【広報】

新たな広報ツールの開発、パブリシティの活用、周辺の施設や学校等との連携を進め、積極的に最新情報を発信する。

【駐車場】

駐車場は現在、有料公園施設の利用者を対象として基本的に無料であるが、公園利用者からの要望も多いため、身障者の乗降のための一時停車を含め、公園利用者が利用できる方策を検討する。必要に応じて民間の駐車場システムの導入も考慮する。

（6）連携・協働の方針

市民団体や企業との連携を進め、地域に根ざした公園を目指した管理運営を行う。現在、千種公園で活動しているボランティア団体のほか、NPO、市民等との協働事業を実施する。

ボランティア活動の継続・充実を図り、公園をボランティアメンバーや市民のコミュニティの場（地域のオアシス）として活用する。

（7）改修・再整備の方針

公園の安全・魅力向上のために必要な場合は、改修を行う。

（8）災害対応の方針

「名古屋市地域防災計画」「震災に強いまちづくり方針～名古屋市防災都市づくり計画～」に基づき、広域避難場所としての機能を確保する。

火災、地震、風水害等の防災・災害対応マニュアルをあらかじめ作成し、発災時には、利用者の安全確保・避難誘導に努める。